

TUS Formula Racing

東京理科大学 機械工学研究会

2021 年 大会結果報告

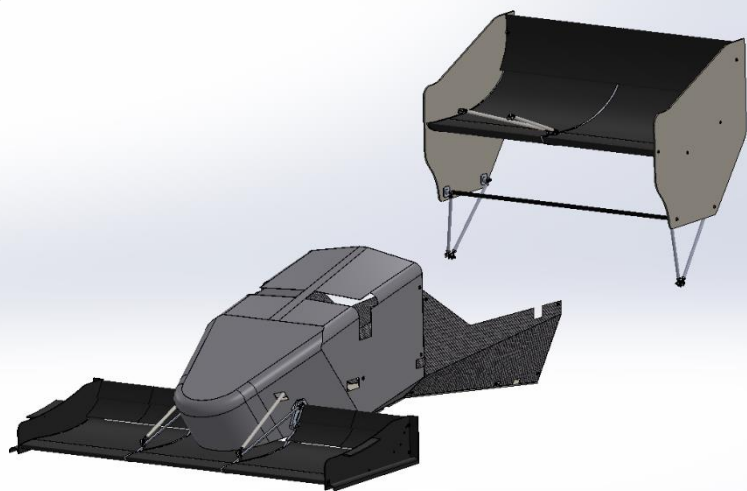
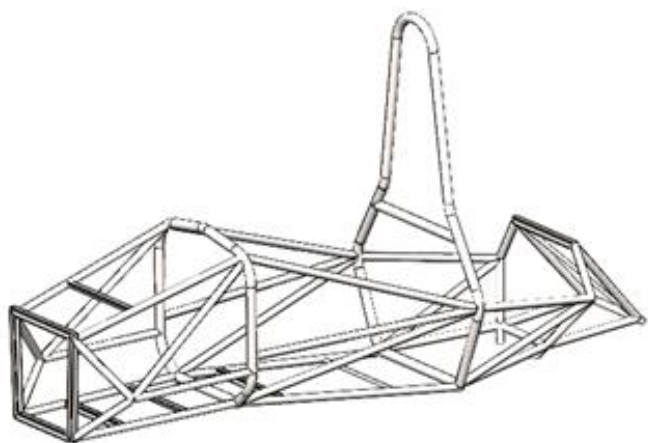


目次

- 1、 大会結果 p,3
- 2、 3 年からのコメント p,4~p,6
- 3、 スポンサー一覧 p,7~p,8

大会結果

動的審査	中止
コスト審査	不参加
デザイン審査	不参加
プレゼン審査	4 位
総合	53 位



3年からのコメント

玉田 航

東京理科大学 TUS Formula Racing 17 期プロジェクトリーダーを務めました玉田といいます。

2021 年は昨年に続き新型コロナウイルスの影響により 2 年連続で学生フォーミュラ大会の動的審査が中止となりました。このような状況下でも活動が続けられたのはご支援頂いているスポンサーの皆様のおかげです。代表してお礼を申し上げます。

弊チームは緊急事態宣言が発令されてから学校からの活動再開許可が降りず、チームとしてもまともに製作活動を行えたのは 1 年間の内にわずか 3 カ月程度しかありませんでした。それでも何とか今できることをやるしかない！と考え静的審査の準備を行いました。社会情勢の変化に伴いメンバーも活動が続けることが困難になる人が増え、話し合いの結果プレゼンテーション審査のみ参加するという方針となりました。

今迄に無い方針でしたが、プレゼン担当班の頑張りにより歴代最高順位であるプレゼン審査 4 位を獲得できたのはとても良かったと思っております。

コロナ渦となりほぼすべての活動がオンラインとなり入ってきた新入生達は自分の同期がどんな人なのかを知らないという人が多く、また学生フォーミュラの車両が一体どのようなモノなのか知らない人がほとんどです。自分はモノづくりでは仲間との友情や信頼、円滑なコミュニケーションがとても重要だということを本活動を通じて知りました。ほぼすべてをオンラインで行うという性質上、仲良くなったり信頼し合える関係を築くのがとても難しく後輩たちに様々なことを教えたり、引き継いだりすることが以前のように簡単にできなくなりました。それでも、弊チームは一步でも前進するため、学生フォーミュラの文化を絶やさないために努力を続けていきますので今後も本活動へのご理解と協力、並びにご支援の方をどうかよろしくお願い申し上げます。



鈴木 雄太

17期プロジェクトにてプレゼンテーション班リーダーを担当しました鈴木です。

今期プロジェクトは新型コロナウイルスの影響で1年以上ともにガレージでの作業ができず、殆どすべての活動がオンラインでできる作業のみとなり、思うように学校生活を送れない中での活動となりました。よって、私の学生フォーミュラ活動は、「実際に顔を合わせたこともない1,2年生の後輩に残せるものは何かを考える」という例年では全く考えもしない視点からの始まりとなりました。

考えたことは沢山ありました。例えば、実際に1,2年生に静的審査の資料作成をさせたり、大会参加は諦めてその分独自の勉強資料を作成し、オンライン勉強会を開催したりする…等です。1,2年生は学生フォーミュラ活動の醍醐味である「自分たちで作ったマシンを見る・感じる」ということすらしたことがない為、いつまで経ってもTUSFRに対して何の魅力も感じる機会はありません。また、日々大量の課題を家で黙々とこなす生活で精神的に限界となると同時に、学生フォーミュラへの魅了も薄れてしまうでしょう。しまいには、マシンを一度も見ずにTUSFRを去ってしまうかもしれません。そのような事態は何とかして避けなければなりません。

最終的に、私が後輩に対してできることは何か考えたに対する結論は「自身がリーダーであるプレゼン審査で結果を残す」ことでした。

これは単純に、後輩に向けて成功したデータを残すという面もありますが、それよりも「結果を残して前向きな雰囲気を作る」ことが目的でした。結果を残せば、オンライン下であっても自分たちが後輩にとって目指すべき模範となり、前向きな姿勢を見せることで一緒に頑張ろうと思ってもらえる直感的な影響を与える唯一の方法だと考えたからです。今振り返ると非常に単純なことですが、今までこのような経験をしたことがなく、失敗ができない状況の私にとっては、チームビルディングにおいてこれが有効であると結論付けるには長い時間を費やしました。この経験は、将来社会人になったとき役立てるように大事にしたいと思います。

大会結果としては、プレゼン審査は全体4位となり、3位以内の入賞は逃したものの、過去の弊チームの結果では最高の順位となりました。OBの方からもお褒めの言葉を頂き、「結果を残す」という点においては目標を達成できました。しかし、私の目標はあくまでチームを存続させることです。今回のプレゼン審査の結果はあくまで目的の手段の一部でしかありません。これからのTUSFRの活動存続に向けて、ガレージに入れない活動制限がある大変な状況下ではありますが、残りの学生生活をTUSFRに捧げるつもりで頑張ろうと思いますので、これからも活動のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、スポンサーの皆様・大会関係者の皆様にはこのような貴重な経験をさせて頂き大変感謝しております。ありがとうございました。

嵯峨野 拓海

東京理科大学 TUS Formula Racing 17 期部長として、主にコロナ禍での大学構内の施設貸し借りの交渉を担当しました、嵯峨野と申します。

まず、社会情勢が不安定な中、弊チームに変わらぬご支援を頂きましたことをお礼申し上げます。弊チームが一年間活動を継続する事が出来たのは偏にスポンサー様方のご支援があつてこそであります。誠に有難う御座いました。

しかしながら、弊チームは今年度の大会で総合順位 53 位と今期の発足当初の総合 10 位以内という目標に及ばない散々たる結果に終わってしまいました。

この大会結果は部長としての自分の予定への見通しの甘さの結果であります。

弊チームは今年度、実車の完成が絶望的となる直前まで、動的審査に比重を置いており静的審査への対策が例年よりも疎かになっておりました。これは、大学での課外活動についての交渉を行っていた自分が気づき、適宜予定を修正し静的審査に比重を置くべきである事をプロジェクトリーダーに進言すべきであったのに、当初の予定に固執し実現性の乏しい予定でプロジェクトを進行させてしまいました。

また、コロナ禍におけるコミュニケーション不足も今期のプロジェクトの失敗の一因であったと考えております。思えば例年であれば、部員が作業の為ガレージや部室に集まり自然とコミュニケーションが取れ、図らずとも部員の意志統一に役立っていました。しかし、今期は、オンラインで代替できる作業はオンラインで行い、ガレージ作業中も最小人数で、会話が少ない中行っていたため、各部員が各々の進捗予定を共有する事が出来ず部員の仕事の不平等感や締め切り超過に繋がってしまったと感じます。例年以上にコミュニケーションを密にとる為の方策を考えるべきであったのに、プレゼンテーション班の鈴木君が slack の使用を進言くれるまでは、具体的に有効な方策を取ることが出来ませんでした。

最後に、弊チームは今後 18 期 TUS Formula Racing として来年度の大会に向けての活動をスタートさせます。今年度はありがたい事に大勢の新入部員を得ることが出来ました。今年度の活動を生かし、コロナ禍での新しい活動形態を模索していき一歩ずつでも前進していきますので今後も本活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



スポンサー一覧

TUS Formula Racing は以下の皆様からご支援して頂いております（敬称略・順不同）



TeXtreme® oXeon Kerb Konus 株式会社 エステーリンク
Spread Tow Fabrics for ultra light composites

NOK

M inaro

S Craftsmanship meets Technology
SEMBOKUYA

NORD-LOCK®
Bolt securing systems

EK CHAIN

VSN

ゆるみ止めナットの総合メーカー
株式会社 富士精密
Fuji Seimitsu Co., Ltd.

igus

For New Technology Network
NTN

ZF

公進

cyan
Control the Results.

LOBSTER
株式会社 ロブテックス

WLB
World's Best

GRIGNARD

NIPPA

GOODRIDGE

LEARS
DRESS UP & MOTOR SPORTS

AKAO

Ohtake Works.Ltd

NHK
ニッパツグループ
ニッパツ機工

NHKニッパツ
日本発条株式会社

め職人
つつき

Sensata
Technologies

TE
connectivity

KE

STANDARD
Supplier of test piece you can trust

Sealed Air
Re-imagine™

CARVEK
THE SPIRIT OF INNOVATION

PLUS μ
Brake Factory

COSMO

NPS

YANAGISAWA
有限会社柳沢精機

栄鋼管株式会社
SAKAE KOUKAN CO.,LTD.
(SAKAE Steel Pipe & Tube)

PHIL
SATO VAC INC.

STC

ASAHI
SPRING CORPORATION

Taisei plas

NATS
NINON AUTOMOBILE COLLEGE

enable 株式会社 アネブル

AsahiKASEI
旭化成建材

AIT

井上鉄工所

KOTORA

EVONIK
POWER TO CREATE

ROHACELL®
An Evonik product.

N NICOLE GROUP OF COMPANIES

SDK

セキダイ工業株式会社
SEKIDAI KOGYO CO.,LTD.

都 MIYAKO
STAINLESS
CO.,LTD.

AIM
POWER

TAKE PARTS FACTORY
MANUFACTURING SERVICES

株式会社 ホンダテクノス

有限会社 コスモ精密

有限会社 昭立製作所

三和メッキ工業株式会社

栗田真一 様

HKS

東京理科大学こうよう会

東京理科大学工作室

東京理科大学OB・OG



TUS
FORMULA RACING

東京理科大学 機械工学研究会 (Tokyo University of Science Formula Racing)

WEB : <http://www.facebook.com/tusfr>

E-mail : tusfr.mail@gmail.com

Facebook : <https://ja-jp.facebook.com/tusfr/>

Twitter : <https://twitter.com/tusfr>